

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会（第26期・第10回）
地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会（第26期・第4回）
地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会（第26期・第7回）
地球惑星科学委員会地球惑星科学社会貢献分科会（第26期・第7回）
地球惑星科学委員会地球惑星科学次世代育成分科会（第26期・第8回）
合同会議

議 事 要 旨

1. 日時 令和7年12月26日（金）13:00～14:55

2. 会場 オンライン会議（ZOOM）

3. 出席者

小口 高、倉本 圭、佐竹 健治、中村 卓司、西 弘嗣、堀 利栄、森口 祐一、矢野 桂司、藪田 ひかる、

浅井 歩、阿部 彩子、石渡 明、井田 仁康、稲葉 俊哉、植松 光夫、臼田 裕一郎、榎本 浩之、
江守 正多、大朝 由美子、大久保 泰邦、大路 樹生、大谷 栄治、奥村 晃史、小野 裕一、掛川
武、春日 文子、金谷 有剛、川口 慎介、川幡 穂高、川東 正幸、木村 学、久家 慶子、黒柳 あ
ずみ、癸生川 陽子、齋藤 文紀、佐々木 晶、佐藤 薫、塩川 和夫、標葉 隆馬、新永 浩子、杉
田 文、鈴木 康弘、関村 直人、関谷 直也、高橋 桂子、高薮 縁、寶 馨、谷本 浩志、張 勁、
津田 敏隆、土屋 旬、中島 映至、中村 尚、中村 正人、新野 宏、西山 忠男、橋本 禅、長谷
部 徳子、花輪 公雄、原田 尚美、日比谷 紀之、平田 直、藤井 良一、古屋 正人、益田 晴恵、
升本 順夫、見延 庄士郎、村山 泰啓、谷田貝 亜紀代、山形 俊男、山岸 明彦、山口 紀子、山
田 育穂、山野 博哉、横山 広美、吉田 丈人、若林 芳樹

4. 議 題
- (1) 次期の会員・連携会員について
 - (2) 地球惑星科学の夢ロードマップの改訂について
 - (3) その他

5. 配布資料

資料1：前回議事要旨

資料2：総会資料_法人化に関する対応状況と今後の予定

資料3：候補者選考委員会資料

資料4：法人化準備委員会議事概要メモ

資料5：夢ロードマップ

6. 議事概要

- (1) 佐竹委員から、資料2、3、4に沿って、日本学術会議の法人化へ向けた準備状況が

説明された。次期（27期）の会員選考については、法人化法案に沿って、候補者選考委員会が2回開催され、年明けには会員・連携会員に加えて研究機関・学会などにも推薦依頼が発出される予定である。これまでの会員・連携会員によるコ・オペレーションに加えて、学会などからも推薦ができる。法人化準備委員会では、学術会議の組織・部の構成・会員・連携会員の位置づけなどについて議論されているが、連携会員については、任期を含む制度が未決定なので、次期の連携会員を今期中に新たに選考するのは困難である。そのため、特例として現在の連携会員に次期も継続して頂くことになりそうだが、任期も含めた具体案は決まっていない。1月10日に会員の意見交換会があるので、連携会員の皆さんからのご意見もそこで紹介したい。これらの説明を受け、会長の選考方法や連携会員の任期などについて、質疑や意見があった。

(2) 倉本委員から、資料5に基づいて、地球惑星科学の夢ロードマップの改訂について説明があった。日本学術会議で2023年に発出した「未来の学術振興構想」が2029年度に改訂されるであろうことを見据え、地球惑星科学分野で2020年にまとめた夢ロードマップを2026年末までに改訂する必要がある。前回と同様に、地球惑星科学委員会とJpGU(日本地球惑星科学連合)との合同で改訂する。現行の夢ロードマップの構成をベースに、横軸は2030—2060年、縦軸は発展レベルのロードマップとする。とりまとめ作業グループを構成して、各分野のロードマップの相互査読を実施したい。昨日公募が開始された文部科学省の「学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想 — ロードマップ2026 —」は3年毎に改訂されるので、今回の改訂とタイミングが一致する見込みである。

(3) 新永委員から、2026年2月21日（土）に予定されている学術フォーラム「STEM分野の未来を支える多様性とは：教育・探究・キャリアをつなぐ対話—理系の男女差を解決する鍵は、小中教育？家庭？地域？」について説明があった。また、公開シンポジウムと学術フォーラムとの違いについて、質疑・回答があった。学術フォーラムは部をまたぐような学際的なものが期待されているが、ポスター作製や当日の運営などについて、学術会議スタッフの協力が得られる。

(4) 資料1に沿って、各分科会や地球惑星科学委員会の開催の報告があった。地球・人間圏分科会では、2026年2月23日に公開シンポジウム「Nature-based Solutions：自然に根ざした社会問題の解決に向けて」をオンライン開催する予定。また、健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会と合同「プラネタリーヘルス：激変する地球環境のもとにおけるウェルビーイングの向上にむけて（仮称）」を「報告」として発出すべく準備中。

以上